

ときめき人

Tokimeki bito

子どもたちの憧れに



「モスベリオ東北BS」の皆さん。右が代表の田澤亮兵さん

モスベリオ東北BSInstagram

登米市を拠点とするビーチサッカーチームモスベリオ東北BSが、2021BeachSoccer地域リーグチャンピオンシップ(日本ビーチサッカー連盟主催)に東北代表として出場。優勝は逃したが、全国の強豪と渡り合い今後が続く足跡を残した。

東北のビーチサッカーを取り巻く環境は震災で一変した。代表の田澤さんは「砂浜だけでなくチーム数も減っていき、一気に活気を失っていくのを肌で感じました」と話す。そうした状況の中、ビーチサッカーを通して地域の未来をつくることを目指し、2018年にチームが発足。「ボランティアや子どもたちへの指導など自分たちにできることを常に考えています」と話すとおろ、日頃から清掃活動などの地域貢献を行うほか、ジュニアユースと

の協力体制を築き選手の育成にも力を入れる。

チームは20歳代の選手が中心で、全国と比べても若い選手が多い。「勝負勘や技術面ではベテラン選手に及びませんが、ガッツでは負けません」と田澤さん。「常に全力を出し切るのが自分たちのスタイル。練習試合であっても無駄な試合は1試合もない」と目の前の試合に必死に挑み、日々技術を磨く。東北を制するまで成長したチームはまだ伸びしろを残し、選手たちも手応えを感じている。

「子どもたちに希望を与え、憧れるような存在になりたい。未来そのものである子どもたちの目標になって、将来バトンを渡したい」。次の世代に自分たちの思いをつないでいくことを目指し、選手たちは全国の頂点を見据える。

編集後記

▼久しぶりに石ノ森章太郎ふるさと記念館へ。開催中の企画展「ゲゲゲの鬼太郎展」の楽しさに仕事だということをお忘れそうになってしまいました。取材後、思わず購入した鬼太郎Tシャツをどこで着ようか思案に暮れています。鬼太郎展は8月21日まで。ぜひ皆さんも来場ください。(渡邊)

▼寄り添い半世紀、夫婦の愛猫きなこちゃんを最後までカメラの方を向いてくれず残念でしたが、佳津子さんに顔をうずめる姿を見て癒やされました。また、まちの若い衆では、年齢が近いこともあり会話が弾みました。明るく元氣あふれる由利さんからパワーをもらいました。(白石)

▼日本一を目指すモスベリオ東北BS。「未来を育てたい。地域貢献まで含めて子どもたちが憧れる存在になりたい」。そう話す代表の瞳の奥に、強い信念を感じました。この思いや活動が子どもたちへ、そしてその次の世代へと続いていってほしいと思います。(佐々木)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

